
第 48 報 平成 25 年 5 月 17 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【生コンクリート 宮古】

復旧・復興工事が本格化するなか、宮古地区では、岩手県生コンクリート工業組合などが誘致した新工場が、1 月末から本格稼働している。また、価格は、建築標準物(21-18-20)で m³ 当たり 2 万 1,250 円と前月比 3,200 円の大幅高となった。

各メーカーでは、地元産以外の骨材調達で増大する生コン需要に対応しており、骨材の県外調達などに伴うコスト増を背景に、販売側では 4 月出荷分から大幅な値上げを表明。需要家側には価格よりも納期を優先させる向きが多く、値上げは急速に浸透した。

【コンクリート用砂 石巻】

石巻地区のコンクリート用砂は、荒目(洗い)で前月比 m³ 当たり 200 円上申し 3,200 円となった。運搬車両不足で運搬コストが上昇傾向にあるなか、供給側は好調な需要を背景に売り腰を強め、段階的に値上げを実施している。

生コンクリート向けの需要は今年度さらに増大することから、メーカー側は増産体制の強化による製造コスト上昇分の価格転嫁を図る意向で、先行き強含み横ばいの見通し。

【アスファルト混合物 いわき】

メーカー側は、ストレートアスファルト・骨材等原材料費の上昇や輸送費の高騰などによるコストアップ分を製品価格に転嫁すべく値上げ交渉を行っており、価格は密粒度(13)で前月比 t 当たり 400 円上申し 1 万 2,300 円となった。

原材料である骨材の需給はひっ迫しているものの、アスファルト混合物の引き合いは落ち着きをみせており、出荷には支障はない状況。また今年度は、NEXCO 等の大型物件や、震災復興の舗装工事も一段落する見通しで、需給に昨年度ほどのタイト感は見られない。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部

TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P80~)	青森県	八戸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万3,300円	5月8日	八戸地区生コン協同組合では、原材料の骨材価格の上昇、燃料費の負担増などを理由にm3当たり1,000円の値上げを打ち出し、需要家に対して売り腰を強化。価格はm3当たり400円の上伸となった。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 6月号	3,200円/m3上伸 2万1,250円	5月8日	復旧・復興工事が本格化するなか、宮古地区で新工場が稼働。各メーカーでは、地元産以外の骨材調達により、増大する生コン需要に対応。骨材の県外調達などに伴うコスト増を背景に、各メーカー、卸商協組では4月出荷分から大幅な値上げを表明。需要家は価格よりも納期を優先させる場面が多く見られ、値上げは急速に浸透した。先行き、横ばい推移の見通し。	ひっ迫	横ばい
		大船渡	—	1万4,400円	5月8日		ひっ迫	強含み
		久慈	2012年 6月号	300円/m3上伸 1万3,500円	5月8日		ややひっ迫	強含み
		釜石	2012年 10月号	1,400円/m3上伸 1万6,700円	5月8日		ひっ迫	横ばい
	宮城県	仙台	2013年 3月号	500円/m3上伸 1万2,000円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2013年 6月号	1,600円/m3上伸 1万5,000円	5月8日	石巻地区では、震災需要による骨材のひっ迫により、平成24年12月頃から県外産の砂(海送品)の調達を始め、平成25年1月からJIS規格外品向けに出荷していた。4月からはJIS規格品に対しても出荷可能となり、現在全ての規格で県外産の砂を使用し出荷している。このような状況のなか、平成25年2月に石巻生コンクリート協同組合では、4月出荷分から2,500円/m3の値上げを表明。需給がひっ迫するなか、需要家側は供給を優先する姿勢で、価格は1,600円/m3の上伸となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 6月号	1,900円/m3上伸 1万6,800円	5月8日	石巻(雄勝)地区では、震災需要による骨材のひっ迫により、平成24年12月頃から県外産の砂(海送品)の調達を始め、平成25年1月からJIS規格外品向けに出荷していた。4月からはJIS規格品に対しても出荷可能となり、現在全ての規格で県外産の砂を使用し出荷している。このような状況のなか、平成25年2月に石巻生コンクリート協同組合では、4月出荷分から2,500円/m3の値上げを表明。需給がひっ迫するなか、需要家側は供給を優先する姿勢で、価格は1,900円/m3の上伸となった。	ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P82~)	宮城県	気仙沼	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万5,700円	5月8日	気仙沼地区生コンクリート協同組合では、原材料・輸送費の高騰を理由に平成24年4月よりm3当たり1,000円の値上げを表明。旺盛な需要を背景に供給側主導で価格交渉が行われ、積算資料12月号で600円/m3の上伸。その後も値上げ交渉が続いており、さらに400円/m3の価格上昇となった。気仙沼地区生コンクリート協同組合では今後、県外産骨材使用によるコスト上昇分を販売価格に転嫁したいとしており、先行き強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2012年 12月号	2,000円/m3上昇 1万5,500円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2013年 6月号	1,600円/m3上伸 1万5,000円	5月8日	松島地区では、震災需要による骨材のひっ迫により、平成24年12月頃から県外産の砂(海送品)の調達を始め、平成25年1月からJIS規格外品向けに出荷していた。4月からはJIS規格品に対しても出荷可能となり、現在全ての規格で県外産の砂を使用し出荷している。このような状況のなか、平成25年2月に石巻生コンクリート協同組合では、4月出荷分から2,500円/m3の値上げを表明。需給がひっ迫するなか、需要家側は供給を優先する姿勢で、価格は1,600円/m3の上伸となった。	ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万5,700円	5月8日	気仙沼地区生コンクリート協同組合では、原材料・輸送費の高騰を理由に平成24年4月よりm3当たり1,000円の値上げを表明。旺盛な需要を背景に供給側主導で価格交渉が行われ、積算資料12月号で600円/m3の上伸。その後も値上げ交渉が続いており、さらに400円/m3の価格上昇となった。気仙沼地区生コンクリート協同組合では今後、県外産骨材使用によるコスト上昇分を販売価格に転嫁したいとしており、先行き強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 11月号	1,000円/m3上伸 1万2,000円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	5月8日	復興需要により、需給はひっ迫した状況が続いている。こうしたなか、供給能力拡大のため復興加速化会議により骨材の広域調達が決定し、生コン用骨材を北海道、青森等から海上輸送で調達することとなった。メーカー側では、骨材の県外調達により原材料コストが大幅に上昇するとして値上げを表明、2,000円/m3の上伸となった。	ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P171~) ※南相馬は細 目の価格を掲 載	青森県	八戸	2013年 6月号	100円/m3上伸 3,500円	5月8日	メーカー側では、生産設備増強に伴う製造コスト上昇を理由に売り腰を強めており、価格はm3当たり100円の上昇。先行き、強含み横ばい推移の公算。	ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	5月8日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	5月8日			
		久慈	2012年 10月号	200円/m3上伸 3,500円	5月8日		ややひっ迫	強含み
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	5月8日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2012年 10月号	200円/m3上伸 2,800円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2013年 6月号	200円/m3上伸 3,200円	5月8日	運搬車両の不足により運搬コストが上昇傾向にあるなか、供給側では好調な需要を背景に売り腰を強めている。段階的に値上げを実施し、200円/m3の上伸。生コン向けの需要は今年度さらに増大することから、メーカー側では増産体制の強化による製造コスト上昇分の価格転嫁を図る意向で、先行き強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 6月号	200円/m3上伸 3,800円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 6月号	300円/m3上伸 4,600円	5月8日	生コンの需要増大に伴い、コンクリート用骨材の需給はひっ迫した状況が続いている。供給側では設備増強による製造コスト上昇分の値上げを段階的に実施しており、300円/m3の上伸。生コン向けの需要は今年度さらに増大することから、先行き市況は強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2012年 10月号	300円/m3上伸 2,900円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 10月号	200円/m3上伸 2,800円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 6月号	300円/m3上伸 4,200円	5月8日	生コンの需要増大に伴い、コンクリート用骨材の需給はひっ迫した状況が続いている。供給側では設備増強による製造コスト上昇分の値上げを段階的に実施しており、300円/m3の上伸。生コン向けの需要は今年度さらに増大することから、先行き市況は強含み横ばいの見通し。	ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	5月8日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2013年 3月号	3,600円	5月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20～5mm 骨材 単位:m3 (P171～) ※宮古は砂利 の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 3,700円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	5月8日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 3,600円	5月8日		ひっ迫	強含み
		久慈	2012年 10月号	100円/m3上伸 3,300円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2013年 1月号	3,400円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		仙台	2013年 2月号	200円/m3上伸 3,300円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,100円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,600円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	200円/m3上伸 3,900円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年	500円/m3上伸 3,400円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	200円/m3上伸 3,400円	5月8日		ひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	5月8日		ひっ迫
	南相馬		2013年 3月号	300円/m3上伸 3,500円	5月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
再生クラッシュ ラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 1,800円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2013年 3月号	100円/m3上伸 2,000円	5月8日		ひっ迫	強含み
		仙台	2013年 3月号	200円/m3上伸 1,800円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2012年 6月号	200円/m3上伸 2,000円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	100円/m3上伸 2,500円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	2,200円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 3月号	200円/m3上伸 1,900円	5月8日		ひっ迫	強含み
		松島	2013年 3月号	200円/m3上伸 2,000円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	2,400円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 2,050円	5月8日		ひっ迫
	南相馬		2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	5月8日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	—	1万2,100円	5月8日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万4,200円	5月8日		ややひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万3,400円	5月8日		ひっ迫	強含み
		久慈	2012年 9月号	800円/t上伸 1万3,700円	5月8日		ややひっ迫	強含み
		釜石	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万3,500円	5月8日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 6月号	300円/t上伸 1万1,900円	5月8日	製造・運搬コストの上昇に対する値上げの一部が需要家へ浸透し、前月比300円/tの上伸となった。アスファルト混合物用の骨材供給は、生コン向け骨材との調整により、依然ひっ迫感が続いている。また、アスファルト混合物の運搬車輛のひっ迫に加え、工事案件の増加に伴う施工地の混雑により運搬回転数も減少傾向にある。メーカー側では、これまでの価格未転嫁分と今後の製造・運搬コストの上昇分を販売価格に反映すべく、値上げ活動を継続的に行う構え。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,200円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,500円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,900円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2013年 6月号	300円/t上伸 1万1,900円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,000円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,400円	5月8日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2013年 6月号	400円/t上伸 1万2,300円	5月8日	メーカー側では、ストレートアスファルト、骨材等原材料費の上昇、輸送費の高騰等のコストアップを製品価格に転嫁すべく値上げ交渉を行っており、400円/tの上伸となった。原材料である骨材の需給はひっ迫しているが、アスファルト混合物の引き合いは少なく、出荷には問題はない状況。また今年度は、NEXCO等の大型物件や、震災復興の舗装工事も一段落しており、昨年度ほどのタイト感は見られない。	やや緩和	強含み
		南相馬	2013年 6月号	400円/t上伸 1万2,450円	5月8日	メーカー側では、ストレートアスファルト、骨材等原材料費の上昇、輸送費の高騰等のコストアップを製品価格に転嫁すべく値上げ交渉を行っており、400円/tの上伸となった。今年度は、NEXCO等の大型物件のほか、避難区域の見直し等により震災復興の舗装工事も発注が見込まれており、骨材の需給も逼迫した状況が続いている。	ややひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9	鋼矢板	5月15日	東北地区の本設工事向け需要が旺盛なことに加え、四国や関西、九州などの西日本の太平洋側で防災対策工事向けの引き合いが増えており、需給はひっ迫している。また、引き合いの増加に伴い、納期にもやや遅れが見られる。 メーカー側の売り腰は強く、先行き、強含み。	ひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	5月15日	昨年11月以降、原料の鉄屑価格は騰勢を強め、メーカーの原料コストを押し上げたが、4月入り後に下落。先高観は後退し、需要家側は当用買いの構えに転じている。これまでのコスト上昇を背景に、製販側は売り腰は引き締めたままだが、鉄屑価格が弱基調で推移する中、価格は横ばいとなった。 流通側は値上げの未達分を転嫁すべく採算重視の販売姿勢を維持しているが、鉄屑価格に反発材料が見当たらない中、需要家側に積極的な購買姿勢はみられない。先行きも横ばいで推移する公算大。	均衡	横ばい
	72	セメント(バラ)	5月17日	災害復興工事向けの需要が旺盛なことを受け、宇部三菱セメントはこれまで休止していた宮城県塩釜市のサービスステーションの操業を3月より再開。各メーカーの工場はフル稼働に近い状況で生産余力がないことに加え、運搬車両の不足も顕著で安定供給が困難なことから、新規物件については納入を辞退する場面も散見される。 メーカー各社では値上げを表明を行っており、価格交渉は7月以降に本格化する見通し。先行き、強含み横ばいで推移しよう。	ひっ迫	強含み横ばい	
	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	5月10日	需要は堅調に推移しており、需給はややタイトな状況が続いている。 今後は円安や産地高に伴う更なる高値製品の入荷が控えていることもあり、先行きの市況は強含みで推移する見通し。 供給体制は平常通りとなっている。	ややひっ迫	強含み	
	226 ～ 229	仮設・土木用 木材	5月10日	復興関連の需要は、沿岸部において、海岸堤防(防潮堤)向けにスポット的にまとまった引合いは見られるものの、全体的に逼迫した状況には至っていない。価格は、輸入材が円安の影響で値上がりし、国産材も値上げ機運が高まっているが、市場への浸透までには至っていない。 目先、強含み横ばいの見通し。	均衡	強含み横ばい	
	木材	230 ～ 237	一般住宅向け需要は、一時期に比べ落ち着いている。官公庁向け需要(災害復興住宅)が出始めているが、今のところ供給能力に問題は無い。価格は、輸入材の値上げも後押しし、国産材も値上げの動きがみられるが、実需が伴わない為、市場への浸透は見られない。 先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	均衡	強含み横ばい		

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	250～252	石油製品	5月14日	<p>原油価格の大幅下落を受けて、元売卸価格も引き下げられた。需要家側に高値を嫌った買い控えの動きがみられる中、油種によっては流通側は数量重視の販売姿勢に転じており、軽油以外の油種は価格下落。流通側の価格競争は当面続くとみられ、軽油以外、石油製品は総じて先行き、弱含み。</p> <p>JX仙台製油所、コスモ石油千葉製油所は平成24年3月末までに稼動を再開。これにより東日本大震災の影響で稼動を停止していた製油所はなくなり、供給面では通常の体制に戻っている。</p>	やや緩和	弱含み
	仮設関連資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	5月16日	<p>東北地区は復興需要から民需・官需とも例年に比べ好調に推移している。供給体制は今後も問題ない見通し。</p>	均衡	横ばい
	各種 賃貸料金	265 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	5月16日	<p>福島地区では、除染関連の引き合いが多く、バックホウ、高所作業車、ダンプをはじめ、ライトバン等のレンタカーを中心に引き合いが活発だが、一時よりはひっ迫感は緩和している。</p>	ややひっ迫	強含み横ばい
		274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	5月14日	<p>【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 賃貸業者によれば震災復興工事の発注は計画の見直しなどで当初の見込みより遅れている。今後、平成25年9月頃に工事発注が重なる見込みで、需要のピークを迎えると予測している。東北地区において資材の稼働率は依然として高く、需給がひっ迫している状況に変わりはないものの、需要のピークを迎える時期までは通常体制で供給できる見通し。目先、市況は横ばいで推移する見通し。</p> <p>【敷き鉄板】 東北地方は被災3県を中心とした復興関連の大口需要により荷動きは好調。一部物件で供給難や供給遅れが生じるなど需給はひっ迫している。一方、保有量が多い関東地方も、需要は堅調で荷動きも活発な状況にあり、東北での大口需要に対しては運搬経費などを考慮し消極的な姿勢。 先行きも、被災地での需給はひっ迫した状況で推移する見通し。</p>	ひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	295	ストレートアスファルト	5月16日	東北地区における需要は依然として旺盛。 供給体制に大きな変化はなく、全国的な需給が均衡している事などから、現在のところ供給不安は生じていない。 為替水準が1\$=100円を突破し、なお円安が進行しており、原油調達の高コスト状況は当面続く見通し。	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	5月10日	需要は引き続き堅調に推移しており、在庫量は月毎に減少している。先行き、強含みで推移する見通し。 被災した工場は、事業停止となった2工場を除いて稼働を再開しており、全品目について生産体制は平常通りとなっている。	ややひっ迫	強含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	5月17日	足元の復興関連需要は、依然、土木関係が中心で、電線・ケーブルの荷動きは堅調ながら、小規模案件が多い。建築関連需要の本格化は不透明なこともあり、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制。供給体制についても、現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能となっている。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782	硬質ポリ塩化 ビニル管	5月16日	下水道関連に加え、一部では公営住宅等でも荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先の見込み。メーカーは原料価格上昇を理由に値上げを打ち出しているが、実需の盛り上がりには乏しく浸透していない。供給体制そのものに問題はみられない。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ~ 9	5月13日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、新年度入り後も最盛期の状態が続き、市況も続騰している状況。鉄筋工の慢性的な労務不足は、材料供給遅れで一時的に目立たなくなっただけで、改善には至っていない。新規物件では、地元手配が困難になり他地区への要請が増加しており、遠隔地からの調達に伴う経費等もかさんでいる。専門工事業者側では、これを機に長年にわたって下落してきた単価を、本来の水準に戻したい意向で、値上げ要請を強めている。今後も、大型補正予算による需要増で、さらに強基調推移しよう。	ひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	414 ~ 417	5月15日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、県など自治体発注も含めて、引き続き多くの復旧復興関連工事が進められている。新年度に入っても、内陸部の建築および土木工事の増加とともに、労務の需給ひっ迫状況が改善される兆しは見られない。 さらに、一部工事では前年度から続く工期延長、 設計労務単価上昇などの要因が重なり 、工事費相場は専門工事業者優位の堅調な相場形成が続くとみられ、今後も強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠工 (材工共)	422 ~ 425	5月15日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾施設では、新年度に入り後も依然として工事量が多い状況が続いている。そのようななか、一部地域では型枠材および労務者の不足がやや解消されつつあるが改善には至っていない。 施工業者側は型枠材および労務者確保を優先せざるを得ない状況であること、 また設計労務単価の上昇により、専門工事業者からの値上げ要請もさらに強まっていることから相場は堅調 。先行き、型枠工相場は強含みでの推移となりそう。	ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	5月10日	被害のあった沿岸部では、倉庫や水産加工場などの物件が見られ、また、内陸部では、学校関連や復興公営住宅などの新設工事や耐震改修工事などの需要が堅調に推移している。専門工事業者側では、慢性的な職人不足に対し、隣県からの協力体制が見られるものの、総合工事業者側では、依然として職人確保に苦慮している。市況は強含み推移。	ややひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	5月10日	沿岸地域では、水産加工の工場や冷凍・冷蔵倉庫等の建設に加えて、病院や学校の耐震改修工事、公営住宅の新設工事等が発注されている。市内中心部においても、住居・オフィスビルの改修工事や、新築工事案件が本格化している。 工事量が増すなか、型枠工の不足は依然深刻な状況で、専門工事業者側では、職人確保のため、他地域からの応援を受けて対応を続けている。職人の調達コストは上昇しており、専門工事業者側の値上げ要求は強い。需給のひっ迫感はこの先も解消されず、引き続き強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み